

経営比較分析表（令和5年度決算）

北海道 長万部町

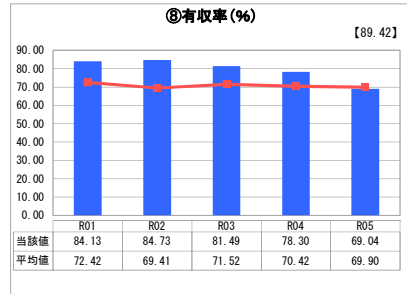
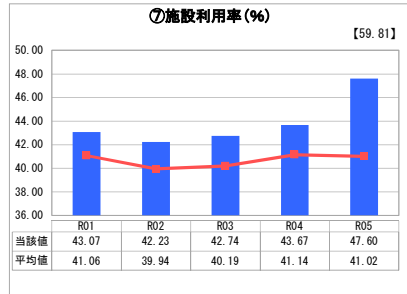
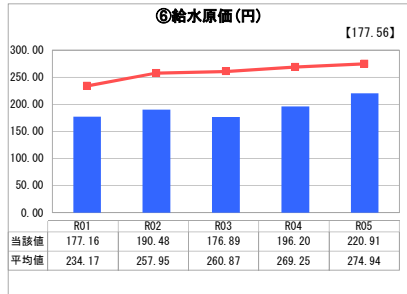
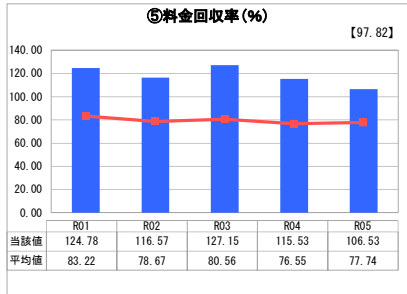
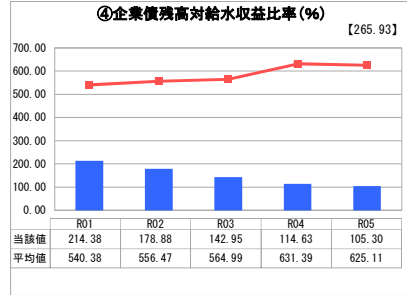
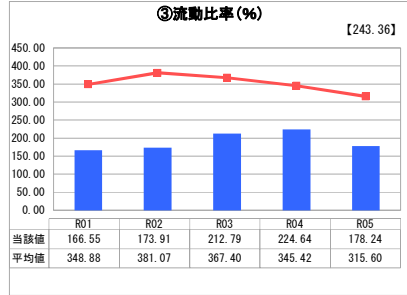
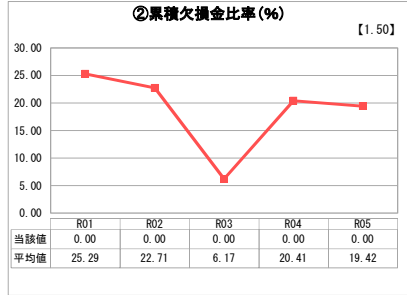
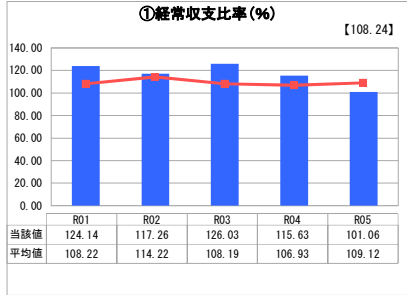
業種名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A9	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)	
-	67.92	95.30	3,872	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
4,817	310.76	15.50
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
4,605	21.92	210.08

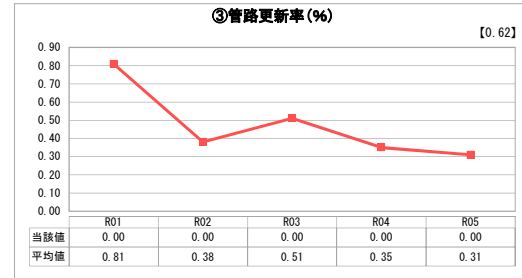
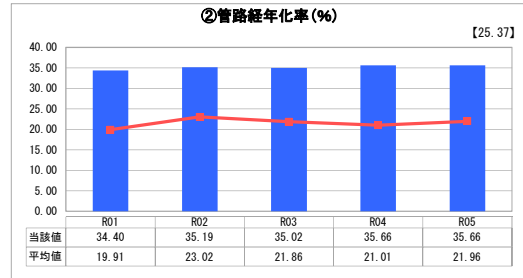
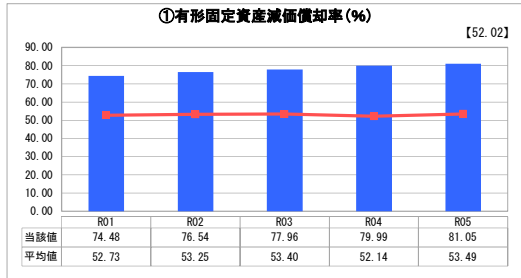
グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率
平成24年度からは100%を上回る黒字経営が続いている。
平成29年度からは類似団体平均を上回っていたが令和5年度は若干下回った。
②累積欠損金比率
平成28年度で累積欠損金は解消している。
③流動比率
100%を上回っているものの、将来の流動資産の注意する必要がある。
④企業債残高対給水収益比率
類似団体平均より低く推移しており、比率は減少傾向にある。
⑤料金回収率
100%を超えているため、給水に係る費用は給水収益で賄えている。
⑥給水原価
平成29年度は類似団体平均を下回ったが、平成26年度から有収水量が減少しているため、継続して経費の削減を図っていかねばならない。
⑦施設利用率
類似団体平均を継続的に上回っている。
⑧有収率
類似団体平均を上回っているが、令和5年度は減少した。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却比率
類似団体平均を上回っており、老朽化が進んでいる。
②管路経年化率及び③管路更新率
管路経年化率は類似団体平均より上回っており、令和元年度よりほぼ横ばいとなっている。管路更新が進んでいないため、更新に係る財源を確保しながら計画的に更新を進める必要がある。

全体総括

本町では、将来、管路の更新時期を迎えるため計画的に更新しなくてはなりません。また、現状では経常収支が黒字で推移していますが、人口減少による給水収益の減少を考慮したうえで、健全な経営状況を維持しながら施設整備を進めていく必要があるため、経営戦略を見直している。